



【活動データ】

場所： 桐生市市民文化会館 4階 スカイホール

日時： 2018年11月23日

今回、桐生市で初めて「桐生市環境先進都市将来構想 未来の環境 ～食と健康の集い～」というイベントが開かれた。宝田教授の話や天谷教授の講演に多くの人が集まり、未来創生塾でもみらい米や野菜販売等、様々な活動を行った。会場では桐生市内外のオーガニック食品なども販売され、盛況となった。



みらい米の販売のために、まず1年生～院生までが参加して米の袋詰めを行った。手順は、最初にお米を入れるパッケージにラベルシールを貼る。次に大きな袋に入ったお米を、持参したお椀ですくい、パッケージに入れて量る。ピンクのパッケージは2kg、緑のパッケージには5kgのお米を入れて紐で締めれば完成だ。誰もが一生懸命に米を袋詰めしていて、完成したパッケージが机にズラッと並べてあるのを見るとこちらも嬉しくなった。塾生の園田さん親子は、「子供がすぐに手順を覚え、きれいに袋詰めが出来ていました。子供の生き生きとした笑顔が見られてとても嬉しいです。(母)」 「米を袋の中に入れて量るところが楽しかったです。難しかったところは、紐をしぼる事です。また次もやりたいです。(子)」と話してくれた。



米をパッケージに入れる作業



ずらっと並んだお米



たくさん売れるかな？

次に野菜販売だ。今回も「ぼくらはまちの八百屋さん」と称し、桐生市梅田産の野菜を販売した。値段付けや商品を紹介するためのPOP、販売、レジ打ちまで全てを子供が担当している。この活動の狙いは桐生市内で生産された野菜を売る「地産地消」で旬の食材を知り、未来創生塾の活動の元である低炭素社会を目指す事である。主に、チンゲン菜やカブ、里芋などを売り、仕入れた野菜は完売した。院生の1人は「みんなで協力できたことは、たくさんあったけど特に話し合ったのが、野菜が売れないときに値下げするか

悩んだことです。」と話した。

独立専攻科の活動

独立専攻科では、11月23日に3つのグループで下記の活動を行いました！

- 米グループ → 先ほどの袋詰めしたみらい米の販売
- 広報グループ → 今までのニュースレターの展示、桐生タイムスからの取材
- 国際化グループ → 市内ALTと街歩きツアー

★これからの活動にもご期待ください！！★